

2023年6月 杵築市立図書館

図書館だより



本館 Tel 0978-62-4362
山香図書室 Tel 0977-75-1055
大田図書室 Tel 0978-52-3111

《6月の特集テーマ》

時の記念日 —時間について考える—

ふだんの暮らしには欠かせない“時間”——。戻すことができない大切な“時間”とうまくつきあうためにできることを考えてみましょう。



日本最古の歴史書『日本書紀』の記述によると、「置漏剋於新臺。始打候時動鐘鼓。」
「初めて漏刻という水時計で時間をはかり、鐘鼓を用いて時刻を知らせた」のが、
天智 10(西暦 671)年 4月 25日(新暦 6月 10日)。これが 6月 10日 が
「時の記念日」に制定された理由と由来です。

『長い一日』

滝口 悠生//著 講談社

素直で純粋な人たちの温かい日常が、温かい言葉で書かれています。
自分やまわりの人とゆっくり向き合っていくと、こんな生活になるのだろう…
…と、自分も本のなかに入り込んでいるような気持ちにさせてくれます。



□■□「本の道」の中ほどに“時間”“時”をテーマとした作品を集集展示しています。□■□

活きのいい情報は雑誌から

◆◇雑誌コーナーの様様替え◆◇

雑誌コーナーの雑誌の並びを改編しました。
旅・歴史・健康・子育てなどのテーマごとに並べています。また、新しく加わった雑誌もありますので、ご利用ください。

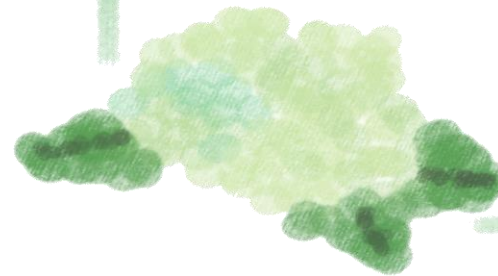
○○雑誌寄贈のお願い○○

読み終わった月刊誌・季刊誌などの最新号の寄贈を受け入れております。受入基準につきましては、図書館にお問い合わせください。

知識の広場 【知恵の泉】

《6月のテーマ》「雨の日の過ごし方」

本館いちばん奥の「知識の広場」屋台には
“雨の日を快適に過ごす”
“雨の日だからできる”
“雨の日を楽しむ”などの本を
90冊展示しています。
どうぞご利用ください。



木曜上映会 6月15日(木) 13時半～

作品『マイ・ブックショップ』 2017年(112分)

監督:イザベル・コイシェ 出演:エミリー・モーティマー、
ビル・ナイ ほか

※事前申込は不要です

真夏の夜の夢～jazz とノンアルコールワインのタベ～

7月15日(土) 開場 18時
開演 19時 (約90分)

場所 杵築市立図書館 本館

演奏 **LIGHT JAZZ GROUP**

協力: **Oliva-Olea**



Menu

カルパッチョ
オリーブの塩漬け
ローストビーフ など

※入場無料(飲食料は参加者負担となります。)

演奏曲

- ♪ Stella by Starlight
- ♪ On Green Dolphin Street
- ♪ Lover Man
- ♪ I Could Write a Book
- ♪ 星に願いを
- ♪ I Remember Clifford
- ♪ A Night in Tunigia
- ♪ My Favorite Things

音楽・飲み物・料理をまるごと味わう

非日常の夜の図書館 ——。ジャズグループによる
一夜限りの演奏を聴きながら、音楽に浸るひとときを
お過ごしください。



『頑張らないジャズの聴き方』富澤 えいち/著 ヤマハミュージックメディア

『名曲・名盤のブルーノート物語』行方 均/編著 学研プラス

『生きているジャズ史』油井 正一/ [著] 立東舎 ほか多数の“ジャズに関する本”を
所蔵しています。

「リレーコラム」 お探し物は図書 館 まで

今月号は、当館スタッフの感動体験をエッセイでお届け。

五月晴れのある日。大分市美術館で開催中の「堀内誠一 絵の世界」展で絵本の原画の世界に浸っていたとき、雑誌「BRUTUS」「OLIVE」などのロゴデザインや雑誌を制作・編集されたのも「堀内誠一」だということを知り、驚きとともに感動を覚えた。さらに進んで若ころ読んだ「an・an」の「パリの名所地図」の原画を見つけては、いったいどんなペンで描いたのだろうか……と思いを巡らせながら原画や作家の愛用の品を鑑賞する時間を心から楽しむひととき。昭和に活躍した伝説のアートディレクター、デザイナー、絵本作家の違う側面や生涯を知り、また堀内作品を手にしたという思いを強くしたのだった。現在、杵築市立図書館が所蔵している「堀内誠一」絵/画の絵本や児童書は59冊。そう、まずはあの絵本を読んでみよう。

(スタッフ Y)

毎週土曜日のお昼は
図書館お気軽ピアノ
12時から30分間
ピアノを弾きませんか♪



前略 新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るい始めた頃、日本でも不要不急の外出は控えるようになりました。自宅にいる時間が増えた私はピアノを始めました。少しの時間を毎日弾いています。安価で場所をとらず音量調節の出来る電子ピアノです。楽譜は図書館からお借りしました。レパトリーも少しずつ増えています。

そんなある日、いつもの図書館に黒くて真新しいピアノがありました。広くて素敵な空間によく似合います。いっそう自慢の図書館になりました。私は未熟ですが、皆さんの奏でる曲を聴きに行きたいです。これまで以上に杵築図書館に通うことになりそうです。

ピアノを寄贈してくださった方に感謝です。ありがとうございます。そして、ご配慮いただいた館長さん、皆さんにお礼申し上げます。

追伸 テレビでは空港ピアノ、駅ピアノ、街角ピアノがありますが、私が生まれ育ったこの町に、こんなにも早く「図書館お気軽ピアノ」が実現されるなんて夢のようです。楽しみです。

井上八重子

「図書館お気軽ピアノ開き」を前に、市内在住の70代の方より手紙が届きました。ご本人には、掲載の快諾をいただきましたので原文のまま紹介します。